

さいき城山桜ホール

# ツキイチ映画

monthly movie

第38回日本映画復興奨励賞受賞  
昭和20年8月6日8時15分：広島に投下された一発の原子爆弾。壊滅的な状況の中で奇跡的に焼け残ったピアノ。被爆したピアノを修理し自らトラックを運転して全国をまわりながら平和コンサートを続ける調律師・矢川光則氏をモデルに、矢川氏がもしこんな人と出会ったら…、こんな場所を訪れたら…、と想像させる『その先』のストーリーを横軸にドラマを展開させ、平和への想いを静かに、かつ心にしみあがらせます。



© 2020映画「被爆ピアノ」製作委員会

日時：令和3年8月9日(月・祝)

上映開始時間 13:30 開場 13:00

♪開場前と上映終了後に被爆ピアノの演奏があります♪

会場：大ホール・自由席  
料金：一般500円、高校生以下無料(整理券必要)  
販売：7月1日(木)～ホール受付窓口  
TEL0972-24-2228  
主催：ツキイチ映画サポーター  
映画「おかあさんの被爆ピアノ」実行委員会  
共催：大分県教職員組合佐伯支部

同日  
開催

被爆ピアノ  
コンサート 無料  
会場 1階アートプラザ  
時間 11:00~12:15  
終了後  
被爆ピアノ・パネル展示

さいき城山桜ホール

世代を超えて伝えられるメッセージと調べ。  
忘れてはいけなない大切な想い。

# 8/9 調律師 矢川光則さんと五藤利弘監督が来佐 映画上映前に、お二人のトークタイム

■トークタイム 13時30分～ @大ホール



撮影：空尾伊知郎

調律師 矢川光則 Yagawa Mitsunori

1952年に広島に生まれ、18歳で上京した後、大手ピアノメーカー等の勤務を経て、1993年に生まれ育った広島のでやガワ楽器調律センターを開業。また、1995年にピアノ工房の建設を機に古いピアノの再生を行い福祉施設等への寄与をする奉仕活動を始めました。奉仕活動を重ねる中「被爆（ひろしま原爆）ピアノ」と出会い、2001年より平和記念公園でコンサートを始め、現在は全国で「被爆ピアノ平和コンサート」を行っています。2019年谷本清平和賞受賞。

映画で佐野史郎さんが演じたピアノの調律師のモデル。「被爆ピアノ」を修復し、そして、自ら4tトラックのハンドルを握り、国内外2500以上の会場に送り届けています。8月9日も前日の長崎から佐伯までトラックでお越しください。

お二人の出会いから  
10年がかりで完成した  
映画の制作エピソード  
などをお聞きます

映画監督 五藤 利弘 Goto Toshihiro

1968年生まれ、新潟県長岡市出身。「おかあさんの被爆ピアノ」の脚本・編集も担当。本作品は、映画を通して平和を訴えた人や作品、活動に贈られる「日本映画復興奨励賞」を受賞。

大学在籍中から自主映画の制作・脚本・演出・上映を続け、2009年、自身の出身地である新潟県中越地方を舞台とした作品「モノクロームの少女」で劇場デビュー。以降、「雪の中のしろうさぎ」(11)、「美しすぎる議員」(19)などが公開されています。

※都合により開演時間、登壇者等が変更になる場合があります。



撮影：空尾伊知郎

## 同日開催 被爆ピアノロビーコンサート さいき城山桜ホールが平和の音色に包まれる♪

■「蘇った音色が語りかける」被爆ピアノコンサート 無料

開場 10時45分 開演 11時02分黙祷後 終演 12時頃  
@ 1階アートプラザ

Program

- ♪ピアノ独奏 幻想即興曲 ショパン  
演奏：森本さくら
- ♪独唱 ともだち  
歌：松尾彩加 伴奏：木村八重子
- ♪独唱 長崎の鐘  
歌：岩矢紗季 伴奏：三輪有沙
- ♪歌唱 時の環 (映画主題歌)  
歌：松尾彩加・岩矢紗季  
伴奏：木村八重子

※都合により、プログラムは変更となる場合があります。

■調律師 矢川光則

被爆ピアノ活動紹介パネル展示 無料

時間 12時00分～16時30分 @小ホール

